

集い繋がり結ばれる！
出雲の『縁』で青年経営者が日本を動かす！

縁創造
enishi



第40回
青年経営者全国交流会
実行委員長 原田 守

青年経営者全国交流会の第40回目を開催する島根は、“神話の国”や“神々の国”と呼ばれています。また開催月である10月は、日本国内で唯一「神在月」と称し全国の八百万（やおよず）の神々が出雲の国に集まる月です。神々は、ここで神議り（かむはかり）を行い「人智を越えた」諸般（はろ）のこと議ります。男女のことを含め人の結びも行います。

その神聖な月の2日間で、自分のこと、家族のこと、自社のこと、社員のこと、地域のこと、そして日本のことを語り合い神々が変わって、我々が「縁」によって日本の将来を“創造”しましょう。

また、今年の2月「第1回中同協青年部連絡会」が開催され、同友会青年部の全国組織が発足した年にあたり、記念すべき青年経営者全国交流会となります。この節目の年にメインテーマを～集い 繋がり 結ばれる！出雲の『縁』で青年経営者が日本を動かす！～として、出会ったみなさまが固い縁が結ばれることを目指しより深い交流を図りましょう。

今回島根同友会では、青全交にとって最高の「おもてなし」を、「熱い討論による満足感を得ること」と位置づけ、お集まりのみなさまに満足いただけるよう、少数精鋭の全員体制で準備していますので、ぜひ島根にお越しください。

最後に島根へお越しいただいた折には、60年に1度の遷宮で新しくなった出雲大社本殿と「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠みに 八重垣作る その八重垣を」で始まる古事記の世界をご堪能ください。

空想の翼で駆け 現実の山野を往かん —世界遺産 石見銀山—

記念講演講師 中村ブレイス(株)
代表取締役 中村 俊郎氏



中村ブレイス(株)
代表取締役 中村 俊郎氏

中村ブレイス(株)は1974年12月20日に中村俊郎（当時26歳）が創業いたしました。

京都と米国カルフォルニア州での義肢装具製作の研修・留学を経て、郷里である島根県大田市大森町にUターンして、一人で創業しました。自宅前の10坪の納屋を改装しただけの、すべてに厳しい状況下でのスタートでした。

義肢装具は障がいを受けた方に処方され、製作する医療用具。人々の元気の「もと」になることを願い、そして過疎化のすすむ史跡の町「石見銀山」再生の一助となればと、社員とともに一丸となって努力を続けてまいりました。1982年に法人化し、今日、日本国内の医療機関・義肢装具製作会社、さらに海外の多くの国々とも交流するまでに成長することができました。

2007年7月、本社のある大森町は、「石見銀山遺跡とその文化的景観」としてユネスコの世界遺産に登録され、国内外の皆さんと一緒に、世界の宝となった感動と喜びを分かちあいました。

現在では1991年に開設した「メディカルアート研究所」において製作している人工乳房「ビビファイ」や他の欠損部分をリアルにお作りする「スキルナー」、災害などの緊急時にもご使用いただける人工肛門（ストーマ）用装具「ジャストーマ」などが全国から注目を集めております。

更に今年は創業40周年を迎え、世界中または全国から会社へ訪問する患者さんや、お客様が安心してゆっくりと大森町で過ごしていただけるように石見銀山の入口に今夏、ゲストハウスをオープンしています。



※義手です。

創業：1974年 設立：1982年 資本金：2,000万円 従業員数：70名
代表者：中村 俊郎 昭和23年（1948年）2月 島根県大田市大森町生まれ
事業内容：義手・義足、治療用装具、人工乳房、人工肛門装具などの製造販売、適合業務を行い、販路を国内外に有する。
企業の特徴：地域に協力すべく、これまでに40件の古民家等の建築を行い、また石見銀山文化館を創設し、研究者の表彰制度を設ける。
略歴：島根県教育委員会委員長（2001～2006）、国立大学法人島根大学客員教授（2004～2008）
賞歴：2007年「第2回ものづくり日本大賞」特別賞（経済産業省）、2010年「第22回毎日国際交流賞」（毎日新聞社）
「第20回メセナアワード2010」メセナ大賞（メセナ協議会）
著書：2011年「コンパニオニイ町の義肢メーカーに届く感謝の手紙」（日本文芸社）
映画：「アイ・ラヴ・ピース」大澤監督（2003年）（アガンの義足の少女との交流物語。映画の舞台となり全面協力。）
テレビ：「人間マップ」（NHK）、「カンパリア宮殿」（テレビ東京）など多く取り上げられている。

世界遺産「石見銀山 龍源寺開歩（筑道）」

実行委員長ごあいさつ

分科会

第1分科会 島根

(南)エヌ・イー・ワークス

代表取締役社長 三澤 誠氏 〔後継者〕

島根同友会 青全交実行委員会副実行委員長
1975年生まれ

経営者の責任

地域に雇用の場を創出、
現金収入を得る場の創出への挑戦！
田舎から出来ることがある！

2002年に地域の雇用創出を目的に起業しました。リーマンショックで仕事が激減し、地域の特徴や地域資源を活かしたお菓子の製造販売をスタートしました。お菓子を製造販売して雇用の維持に挑戦しますが、リーマンショックから2年半後に雇用継続の限界がきました。人員を大幅に削減し、経営者として一番悔しく、罪悪感に苛まれながらあらためて自社の全てを見つめました。

地域と一体となった新しいビジネスモデル構築の挑戦を報告します。奥出雲町から世界に通用するビジネスモデル構築を目指します！

設立：2002年 資本金：2,900万円 年商：2億1,000万円 社員数：43名
事業内容：遠視部品組立て検査、食品製造販売、ドライエディブルフラワー製造販売他
URL：http://www.new-works.jp



第5分科会 京都

(南)ファンシステム

代表取締役 小山 和幸氏 〔後継者〕

京都同友会 理事
1973年生まれ

人を生かす経営の実践

僕らは僕らのファンになる

何をするのかでなく、誰とするのか？

2004年、コンサルティング先の社長から飲食店の経営を譲り受けた小山氏ですが、そう簡単に事業は好転せず、従業員との関係でもさまざまな課題を抱えることとなりました。そんな中で同友会に入会し、多くの経営者との出会い、気づき、学び、実践を通じて、現在は「楽しくなければ仕事じゃない！」と小山氏は言います。

「身内第一主義」「辞めたくない会社日本一」を掲げ、月商8万円から現在2,000万円へ！小山氏が何を考え、どう行動しているのか？「対等な労使関係」の先にあるわれわれ経営者の姿勢とは？

自らも含めて、関わる周りの人すべてをファンにする会社づくりに邁進中！

設立：2003年 資本金：300万円 年商：2億2,000万円 社員数：80名（内パート・アルバイト67名）
事業内容：焼肉・居酒屋・カフェの経営・飲食店専門コンサルタント業
URL：www.fan-system.com



第9分科会 鳥取

総合印刷出版(株)

専務取締役 植木 仁美氏 〔後継者〕

鳥取同友会 理事・鳥取支部 副支部長
1979年生まれ

後継者問題（後継者の心構え）

父から子へ
トラブルのない事業継承
思いと力を合わせて、次代に備える

四人姉妹の長女として、家業の印刷会社を継ぐことと意気揚々と入社するも、次々と問題に直面します。なんとかしたいと夢いっぱいいる経営指針を創りますが、社長や社員の思いを軽視したのもだったためお蔵入りに。

その後、社長と同友会活動をともにし、思いを合わせた指針を作成。ようやく変革の歯車が回り始めます。後継者は社員、業務、お客様…たくさんの財産を引き継ぎます。その大切なことと責任の重みに気づき、試行錯誤してきた4年間と、社長交代を1年後に控えた現在の取り組みを報告します。

設立：1953年 資本金：1,000万円 年商：2億4,000万円 社員数：32名（内パート・アルバイト5名）
事業内容：印刷（広告、包装、事務、出版）とその企画・デザイン URL：http://www.sogoprint.com/



第2分科会 広島

(株)クニヨシ

代表取締役 早間 雄大氏 〔後継者〕

広島同友会 理事 青年部会連絡協議会会長
1973年生まれ

経営者の自己革新

経営者が変われば会社も変わる

時代の荒波に立ち向かう経営者の姿とは

世界放浪の旅から呼び戻されて入社した父の会社は、今にも倒産しそうな状況でした。そこから必死で営業・仕事に取り組みます。その甲斐あって会社は持ち直し、家業にすぎなかった体制も、少しずつ社員さんが増えていきます。ところが入社しては辞める、の繰り返し。仕事に追われて社員の気持ちを汲み取ること、自らの思いを伝えることを忘れていたことに気づきます。

ここから自分と経営を見つめる長い取組みが始まります。徹底して顧客要望を汲み取り応えることに勤め、全社一丸の体制作りに取り組みます。そのベースにあったのは、経営者としての自らの確立でした。

設立：1992年 資本金：1,000万円 年商：4億円 社員数：28名（内パート・アルバイト2名）
事業内容：鉄・ステンレス等の1次加工から溶接まで。一品物から大量生産物まで製作可能。



第6分科会 香川

ライフスタイルブティック グレースマーケット

代表 木村 葉月氏 〔後継者〕

香川同友会 理事
1973年生まれ

市場創出

新しいライフスタイルの提案が
オンリーワン市場を創っていく！
倉庫の一角から始まった生き様の発信

古い穀物倉庫の再生事業で始めた花屋。立地条件も悪く、知名度も無いため、ワインと花束セットのネット通販を始めます。そんな時、経営指針を創る会に参加し、「ライフスタイルブティック グレースマーケットは花と植物を通じて、新しいライフスタイルを提案いたします」の理念と自分の生き様の確認が出来ました。

また、経営理念を創る過程で、その古い穀物倉庫にもこだわっていることに気づき、倉庫を丸ごと改修し、花屋と融合した結婚式でもできるカフェレストランを開業しました。理念と生き様の追求が、新しい未来（市場）を広げて行きます。

設立：2004年 年商：4,400万円 社員数：7名（内パート・アルバイト5名）
事業内容：生花販売、香小売、飲食業、店舗、インターネットでの生花、ブライダルフラワー、結婚花全国販売。花とインテリアと一緒に贈ります。ブライダル、ディスプレイ、インテリアプランツの装飾。カフェスタイルHAZUKI
URL：http://www.gracemarket.net



第10分科会 東京

(株)Trust Cooperation (トラスト コーペレーション)

代表取締役 別府 信太郎氏 〔後継者〕

東京同友会 理事・青年部部長
1978年生まれ

青年部活動

青年部活動を通して未来へ挑戦！！

2013年青年経営者全国交流会をステップに新たな価値創造へ

2011年青年部部長に就任。少数でサロン化傾向にあった青年部の活性化に乗り出しました。高い活動理念を掲げ方向性を明確にするとともに、新幹線を集め再出発。組織的な運営を目指し委員会を設置し、密度の濃い交流とITの活用で青年部を活性化しました。現在は首都圏の青年経営者で連携し「首都圏サミット」を設置。2013年の青年経営者全国交流会IN東京をステップに組織の飛躍を展望しています。何のために経営するのか、青年部活動をするのか？青年部の未来について話し合う分科会です。

設立：2007年 資本金：1,000万円 年商：2,000万円 社員数：12名（内パート・アルバイト1名）
事業内容：採用コンサルティング・アウトソーシング、[社会人基礎力]の評価・育成、動画求人票作成サービス、就活コミュニティ「ハ王子「就活カフェ」」の運営 URL：http://trustcooperation.co.jp



第3分科会 愛媛

(株)世起

代表取締役社長 今村 暢秀氏 〔後継者〕

愛媛同友会 伊予・松前支部幹事長
1967年生まれ

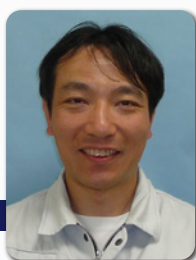
経営指針

幾多の苦難を乗り越えて生まれた社員との絆
その鍵は経営指針の確立と実践
大変な時期を辛抱し、共に乗り越えてくれた社員との絆を何よりも大切に

倒産の危機を迎えた時、創業者である父のゆるぎない経営姿勢と社員の協力によって乗り切り、社員との固い絆を得ることができました。2005年に同友会に入会し、その体験を体系化して学び、会社を永続的に発展させていくことが自身の使命であると気付きます。

現在も毎年の経営指針文化セミナーに社員と一緒に参加し、経営指針を磨き上げるとともに、社員との絆をより強固なものにしています。「苦難と一緒に乗り越えた社員との絆が何より大切」と語る今村氏が、自身の経験と学びを報告します。

設立：1970年 資本金：1,000万円 年商：4億円 社員数：32名（内パート・アルバイト20名）
事業内容：和洋菓子の製造・販売 URL：http://www.seki-net.co.jp/



第7分科会 茨城

技研プロセス(有)

専務取締役 宮本 勇氣氏 〔後継者〕

茨城同友会 南西支部・副支部長
1977年生まれ

付加価値を高める

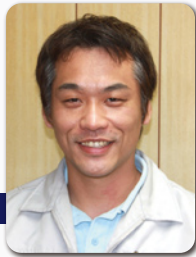
自己破産の危機を乗り越えて

とらわれない「あまのじゃく」が新技術を開発した

借金ばかりが増える2000年、父親から「自己破産することにした」と告げられ、宮本氏は「もう少しやらせてくれ」と訴えていました。自己破産は思いとどまり、新技術開発に方向転換した結果できたのが、それまでは困難と言われていたアルミへのシリコン塗装（実用新案）でした。今、大手コンビニのパンを焼くアルミ箔にシリコン塗装が採用され、急激に売上が上がっています。

自己破産の危機を乗り越えたのは、宮本氏の常識にとらわれない、人とは違ったことを考える「あまのじゃく」な心でした。

設立：1985年 資本金：300万円 年商：2億5,000万円 社員数：30名（内パート・アルバイト25名）
事業内容：シリコン塗装・テフロンの塗装、金属及びプラスチック部品の塗装・印刷・組み立て他、加工全般
URL：http://www.ad-giken.co.jp/



第11分科会 大阪

(株)山田製作所

代表取締役専務 山田 雅之氏 〔後継者〕

大阪同友会 大東支部 支部長
1964年生まれ

中小企業憲章・条例

「売上げ95%ダウンからの復活」から13年

町工場が経営課題に取組み続け見つけた、憲章・条例への取り組み方

13年前、「徹底した3S」で会社を改善し、瀕死の経営危機を乗り越えた山田製作所。しかし、まだまだ経営課題山積み状態。

時を同じくして同友会に入会。青年部時代に中小企業憲章運動に出会います。この運動に何かを感じ取った山田氏。山積みの経営課題克服のヒントを探し求め中小企業憲章運動に取り組みます。

青年部を卒業して6年。現在は大阪の大東支部支部長をしています。小さな会社が経営課題に取組み視点から見た中小企業憲章・条例運動を報告します。

設立：1969年 資本金：1,000万円 年商：2億4,000万円 社員数：17名（内パート・アルバイト1名）
事業内容：製缶・板金・産業用乾燥機・産業用機械 設計・製作 URL：http://www.yamada-ss.co.jp



第4分科会 愛知

(株)エースベーキング

取締役営業本部長 吉田 昌容始氏 〔後継者〕

兼経理総務部長
愛知同友会 西尾支部支部長
1974年生まれ

人を生かす経営の実践

信頼関係が、人と組織を生かす

人こそが自社の最大の強み

吉田氏は、大手銀行のトップセールスマンの肩書を引上げて株式会社エースベーキングに後継者として入社、その自信と能力を活かし、売上目標を達成するため闘闘を振ります。しかし、結果は将来を期待していた社員の退職や、労働組合の発足など社内の問題が続出してしまいます。良い会社にするためにやってきたことがなぜ社員には伝わらないのか、出口の見えない状況に陥ります。その後、身近な人の生と死を目の当たりにし、同友会で労使見解「人を活かす経営」について学び、経営者としての姿勢を正し覚悟を持つことの大切さに気づき吉田氏は変わっていきます。そして、社員を一人の人間として尊重する姿勢を労働組合側に示すと、対立していた関係が徐々に変化していきました。この分科会では、吉田氏の報告を問題提起として、社員との信頼関係を築くために大切なものを何なのかを学びます。

創業：1964年 設立：1979年 資本金：2,000万円 年商：11億1,000万円
社員数：55名（内パート・アルバイト2名） 事業内容：食料品（業務用パン）の販売
URL：http://acebaking.jp/



第8分科会 宮城

(株)伸電

取締役会長 原田 誠氏

宮城同友会 理事・同友会大学学長
1946年生まれ

代表取締役 佐藤 弘樹氏

宮城同友会 理事・地球環境委員会委員長
1967年生まれ

後継者問題

「労使見解」を次世代に託して
～わが社の事業承継～

(株)伸電は、島根県出身の原田会長が幼少期に体験した「人の心を明るく照らしてくれる“電気”への感動」を出発に創業し、今年で創業37周年を迎えます。

佐藤社長は1991年に入社し、3年間の現場での仕事を経験後、営業として活躍。2007年に事業承継しました。ともに「企業経営」と「同友会運動」を車の両輪として推進するリーダーであるお二人から、「労使見解」を核にした企業経営と事業承継の実践を語っていただきます。

設立：1975年 資本金：3,000万円 年商：2億2,000万円 社員数：18名（内パート・アルバイト2名）
事業内容：電気設備工事、太陽光発電設備、生体エネルギー応用商品製造
URL：http://e-shinden.com/



『夢』を語れ『思い』をぶつけ

熱い討論で未来へ